

編集あとがき

本書は「改訂版 秦野の野鳥」を新たな写真やデータをもとにして書き直したものです。前刊は教員の方々が分担して1987年から2年間集中して秦野市内12ヶ所を観察した結果をもとにしたもので、短い期間を切り取った結果となっています。はだの野鳥の会では、2014年に35周年報告書として観察記録をまとめました。本書は、その結果をもとにできるだけ多くの新しい観察結果を加えたものです。観察期間が異なりますが、両者の野鳥目録を比較すると明らかに時代の変化が見られます。本書に「野鳥の変化」としてまとめました。さまざまな原因があると思いますが、秦野市と周辺は環境の変化が急速に進んでいますので今後も注意していきたいものです。

本書は、秦野市の小中学校の教育用として作成していますが、一般の利用も前提としているため、生活型など定義を明確にするため少し難しい内容も含まれています。教育現場で説明を補充していただければと思います。

野鳥を観察する楽しみは、姿やしぐさのかわいらしさ、色や姿の美しさ、速さや強さ・たくましさに感動することから始まります。掲載した写真は見たいと思う野鳥の姿や、解説内容をよく表現しているものを選びました。また解説用の写真は秦野市内で撮影されたものにこだわりました。そのため市内で見ることが少ない鳥については鮮明さに欠けるものもあります。観察の困難さを共有していただけたら幸いです。

今回、秦野市域での観察時期を月表示でも示しました。秦野市は低地から丹沢山地まで標高差が大きく、野鳥の生息場所も季節によって多様です。通常我々の観察地は主に平地や丘陵地です。丹沢山地にすむ野鳥の観察月には実際にわれわれが観察した以外に、「秦野ビジターセンター」の長縄、長澤両氏から特にルリビタキとソウシチョウの夏の生息状況について聞き取りし補完したデータも含まれています。ここに改めてご協力に感謝いたします。

最後に、「新訂版 秦野の野鳥」の編集と執筆の機会を与えていただいた秦野市教育委員会と秦野市教育研究所の皆様にご感謝いたします。

平成28年3月

はだの野鳥の会 会長 八木 茂